

## 中川 勲 議員（代表質問）

### 1 スポーツアカデミーサッカー場人工芝について

- (1) オープンから8年が経過し、サッカー場の利用者はどれくらいか。
- (2) 人工芝がかなり劣化し、芝が糸状になりアスファルトの上でプレーをしている感じであるとのことであるが、現状を把握しているのか。
- (3) プレーする選手がすべて危険であると悪評が出ているが、早期に人工芝を張り替え、安全確保すべきではないか。

### 2 新型コロナウイルス感染拡大防止対策について

- (1) 拡大防止対策事務局は健康センター職員のみか。
- (2) ワクチン接種の予約、接種は順調に進んでいるのか。接種者・予約者は何人か。外国人はどうするのか。
- (3) 接種方法や接種年齢等が変更されてきているが、大丈夫か。市民に分かるように広報すべきと思うが。（防災無線の利用）
- (4) ワクチン接種後に体調に異変があった人はいるか。
- (5) 小中学校等において予防対策は万全か。また、教職員の予防対策や負担の軽減などの状況は。
- (6) 児童生徒の学習面・精神面において変化はないか。
- (7) 日常生活において変化が出た家庭はないか。

### 3 フレイル対策について

- (1) 新型コロナウイルス対策のために外出を自粛する生活をしていることにより、心身が衰えていくとのことであるが、対策をPRすべきではないか。

いか。

- (2) 栄養、運動、社会参加は、コロナ禍であっても、健康を維持するためには欠かすことはできないと思うが、対策は。
- (3) 運動や食事、人とのつながりを続けた人は、心身の健康を保つことができることをPRすべきではないか。

#### 4 中滑川駅前エリア整備事業について

- (1) (仮称)中滑川複合施設の最初の入札がなぜ成立しなかったのか。
- (2) 来年3月末まで完成するのか。また、完成しなかったら、補助金等はどうなるのか。
- (3) 店舗への入居者は決まっているのか。

## 古沢 利之 議員（代表質問）

### 1 新型コロナ対策について

- ・ 高齢者の接種完了後の接種予定について
  - ア 様々な要望、意見がある。若年層では「かかりつけ医」がない場合も多い。希望日が休日に集中しやすいことなど、高齢者とは違う対応が必要でないか。
  - イ ワクチン接種がすべてではない。検査の拡充を含め、従来以上の予防策の継続が求められる。今後の対応について問う。
  - ウ 福祉・介護事業者、個人事業者などへの支援は。

### 2 国民健康保険について

- (1) 国民健康保険税について「県下統一」に向けた協議が始まるやに聞いている。「統一保険料（税）」についての見解を問う。
- (2) 市町村独自の事業、軽減策は尊重されるように求めるべきではないか。
- (3) 国は、来年度（2022年度）から、限定的だが子どもの均等割を軽減する。均等割廃止を含めて、上乘せ軽減を検討されたい。

### 3 防災対策について

- (1) 8月に県の防災訓練が、本市をメイン会場に予定されている。昨年は図上訓練を余儀なくされた。状況が許せば実践的、総合的な訓練になることを期待したい。連動した具体策を問う。
  - ア 避難所運営について
  - イ 感染症対策について
  - ウ 福祉避難所運営について
- (2) 5月から従来の「避難勧告」がなくなり、警戒レベル4は「避難指示」に一本化された。これを踏まえた対応はどうするのか。

### 4 地域医療構想による公立、公的病院の再編について

- ・ 今年度の県への重点要望事項に「公的病院の機械的な再編・統合は市民生活に大きなマイナス要因」と記述された。一方、国では「構想」に基づき、急性期病床を廃止した医療機関に支援金を支払おうとしている。見解を問う。

## 脇坂 章夫 議員（一般質問）

### 1 フードドライブについて

- (1) 現在までの提供物資の状況を伺う。
- (2) 各市町村でも活動を行っている。本市も寄附のPRをしてはどうか。

### 2 ひとり親への補助について

- (1) 本市において、ひとり親の子どもたちへの補助金について伺う。
- (2) 本市においては、母子家庭の会の方々も活動をされていると聞かすが、どのような協力体制が組まれているのか。
- (3) 子どもたちだけで食事をしている子はいるのか伺う。

### 3 行田公園について

- (1) 公園内の江浚いの実態はどのようになっているのか。
- (2) 平成27年11月16日に寺家小学校5年生が「みんなで森を守ろう」をスローガンにドングリの木等を植樹されたが、草木の成長への手入れ等がされているか。
- (3) いろいろな野鳥が数多くいると聞かすが、子どもたちが巣箱を作る楽しみ、鳥が卵を産み繁殖する喜びを検討してはどうか。
- (4) カブトムシ等の昆虫の繁殖床の検討はどうか。
- (5) 中川をきれいにし、まちなかの川に魚が泳ぐまちづくりを検討されてはどうか。

### 4 次期衆院選について

- ・ 先月13日に市長は、上田英俊氏に今秋までに行われる次期衆院選で富

山2区からの立候補の検討を求めたとのことである。そこで、今回の率先躬行について、伺う。

## 大浦 豊貴 議員（一般質問）

### 1 指定管理公共施設の利用・運営状況について

- (1) 文化・スポーツ振興財団が受託管理する 15 施設の令和元年度使用・利用料収入は、約 1 億 3,800 万円であったが、令和 2 年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、各施設使用・利用者が減少し、使用・利用料収入は約 9,200 万円となり約 4,600 万円減少した。令和 3 年度も収入が、以前の水準へ戻ることは難しいと考える。令和 2 年度文化・スポーツ振興財団の管理・運営受託事業収入を除く経常収益、及び令和元年度 3 億 3,456 万円だった経常費用はどうか。
- (2) 市民交流プラザでは、平成30年度・令和元年度共に年間利用者数は約 18 万人であり、うち、あいらぶ湯利用者は、約 13 万人であった。令和 2 年度利用者数は約 11 万 8,000 人、あいらぶ湯利用者数も約 9 万 4,000 人に減少した。令和 2 年 6 月定例会では、令和 2 年度 4 月・5 月時点での利用料収入は、前年度比 74.3% 減の 1,066 万 3,000 円の減収とされたが、今年度 4 月・5 月利用料収入は、令和元年度と比較してどうか。
- (3) 令和 2 年度、文化・スポーツ振興財団が受託する各施設利用状況は、滑川市産業研修センターを除き大幅な減少がみられる。今後の利用者推移をどう見ているか。また、施設運営と市民サービス持続性のバランスについて、見解を問う。
- (4) 青雲閣は、年間平均利用者数約 5,000 人であるが、令和 2 年度利用者は 850 人に減少した。新型コロナウイルスの感染拡大により、これまでの学校やスポーツ等各種団体、企業研修等の利用者が自粛したものとする。現在の利用状況、予約状況はどうか。
- (5) 各自治体が保有する少年自然の家を参考に各区分の料金を設定していると認識している。施設の維持管理に関しては、行政の市民サービスの持続と利用者から適正な料金収入を経て維持していくものとする。見解はどうか。また、青雲閣の各利用料金の見直しを図ることは、検討できないか。
- (6) 株式会社ウエーブ滑川の令和元年度受託事業収入を除く売上総利益は、1 億 1,808 万円、一般管理費は、2 億 3,666 万円であったが、令和 2 年度はどうか。

- (7) 令和2年6月定例会では、財政課より「ほたるいかミュージアムでは、年間利用料収入の約6割を占めるほたるいかシーズンの4月・5月に休業を余儀なくされたことから前年対比98.1%減で2,486万円減収した」と報告された。今年度の4月・5月のほたるいかミュージアム利用料収入は、令和元年度と比較しどうか。
- (8) 提案理由説明では、令和2年度入館者数は2万320人で、前年度から5万24人減少し、対前年比71%減となり、毎年入館者が最も多い4月・5月の休館や観光そのものの自粛等影響したとあったが、ほたるいかシーズン以外の集客率向上が課題ではないか。4月・5月以外の入館者数・利用料収入に対する見解を問う。
- (9) 台湾美食展への出展を断念したが、提案理由にある「引き続き情報収集に努める」とは、何に対しての情報収集に努められるのか。「様々な方式での誘致活動を実施できるよう準備する」とあるが、準備する様々な誘致活動とは何か問う。

## 2 日医工スポーツアカデミーについて

- (1) 2012年に海洋高校跡地に建設されたフットボールセンターの命名権を、日医工が取得し、滑川市・富山県サッカー協会と協定を締結したが、協定期間は2023年3月31日までとなっている。今後のネーミングライツ契約は、どこが、どのようにして進められるか。
- (2) 現在、富山県サッカー協会でもスポーツアカデミーの人工芝張替え事業の計画が役員会でも議論されており、スポーツ振興くじによる助成事業としても検討されている。しかし、コロナウイルス感染症の影響によりスポーツ振興くじの販売が止まったことや、収益が減ったことによる助成事業の対象縮減の可能性も考えられるが、本市の協力体制を問う。

## 3 ネーミングライツについて

- (1) 各自治体でもネーミングライツパートナーを募集し地方財政の収入を生み出すことや、地元企業の社会・地域貢献につながる方策として用いられている。しかし課題もあり、考えられるものとして、①地方では体

力のある企業が限られる。②企業名や商品名が先行し施設機能が分かりにくくなる。③短期間で施設名が変わる。④地元に根差した施設ほど、市民の理解と合意が得られにくい等がある。日医工スポーツアカデミー以外には、本市の導入実績はないものとするが、第5次総合計画の中でもSDGsとの整合・推進を図るとされている。目標17ターゲット17では、「さまざまなパートナーシップの経験や資源戦略を基にした、効果的な公的、官民、市民社会のパートナーシップを奨励・推進する。」とある。ネーミングライツパートナーの募集を図り、地域づくりの活用に取り組む考えについて見解を問う。

- (2) 企業側からすれば、宣伝効果や社会・地域貢献につながり、行政側は、財源確保による持続的な施設運営を行うことで、市民サービスの持続と向上に資するものであるが、投資する以上企業側は効果を期待すると考える。そのため利用者の多い施設や、メディアにより多く取り上げられるものが重点的に考えられ首都圏や大都市の施設が、ネーミングライツ契約は優位であるとされていたが、地方自治体が苦戦しながらも契約を増やしている。要因としては、従来ネーミングライツを用いていた大規模なスポーツ・文化施設だけではなく、企業側からの提案の受け付けや、あらゆる地域資源の活用を模索し自主的な取り組みに努め、細分化されたパートナー募集を図っていることにある。本市が所有する各施設や事業・道路・公園等、様々に活かすことはできると考えるが、さしあたって新たに整備予定の浜加積福祉センター及び浜加積地区公民館・中滑川駅周辺整備建築施設に「ネーミングライツ」の取り組みは考えられないか。

## 4 男女共同参画について

- (1) 平成30年5月23日に、政治分野における男女共同参画の推進に関する法律が公布、施行され衆議院・参議院および地方議会の議員の選挙において、男女の候補者の数ができる限り均等となることを目指すことなどを基本原則とし、国・地方公共団体の責務や、政党等が所属する男女のそれぞれの公職の候補者の数について目標を定める等、自主的に取り組むよう努めることが定められた。今後、議会や政党等で議論を深めることが必要だと思うが、議会のみならず、民間も含めた広い分野においてこの趣旨を取り込むことはできないか。
- (2) 滑川市男女共同参画計画「第3次ときめき かがやき ひかりのプラン」重点課題4政策・方針決定課程への女性の参画促進現状と課題に「各分野で女性の登用を促進し、女性が能力を十分発揮し活躍できる環境を

つくることは、これからの滑川市の活力を創造する上でも必要不可欠なことです」「事業所においても性別による固定的な役割分担意識が根強く残っている傾向にあります」とあげられている。本市においても女性職員の管理職への登用を推進し、割合目標を立てているが、女性管理職、または、女性職員の配置について見解を問う。

- (3) 基本施策①行政における女性の参加促進では、「各種審議会等委員への女性の登用を促進します」と計画され、取り組みは各担当課とされている。先月末まで滑川市総合計画審議会委員の市民公募が行われ、400字程度の作文により選考に諮るということであった。選考方法に対する見解、並びに女性の参画促進へどう取り組まれたか。また、募集結果・選任結果はどうか。

## 浦田 竹昭 議員（一般質問）

### 1 男女共同参画推進について

- (1) 当局提案予定であった、市議会における男女共同参画の実現を目指す条例に、「市議会議員の定数の10分の3未満としないこと」と、具体的数値を上げることに對し、「平等原理の侵害」に当たらないか、また「逆差別化」に当たらないか、その認識について、見解を問う。
- (2) 当局提案予定であった、「滑川市議会における男女共同参画の実現を目指す条例案」を、取り下げられた理由について、見解を問う。
- (3) 「ときめき かがやき ひかりのプラン」が、平成9年3月に策定されてから、今日までの活動・取り組みについて、「家族・地域」、「子育て・教育」、「仕事・職業」、「余暇・生きがい」、「人権」それぞれにおける効果・検証、評価、総括について、見解を問う。
- (4) 平成11年12月に制定された、「男女共同参画社会基本法」に基づき地方公共団体の責務として、本市においても、男女共同参画推進条例を策定すべきと考えるが、見解を問う。

### 2 浜の活力再生プランについて

- (1) 滑川蒲鉾の土地と建物の取得に際し、平成29年から今日まで様々な議論・経緯があったが、その検証・総括等を踏まえての浜の活力再生プランの策定と思うが、見解を問う。
- (2) 漁港周辺エリアの土地・建物を活用した「漁港・観光振興エリア」の整備に関連した、「臨港食堂及び直売所の整備」、「休憩所及びトイレの整備」、「天日塩作業所の整備」、「漁具倉庫の整備」について、それぞれの構想、検討、計画、整備実施、維持管理へのタイムスケジュールについて、見解を問う。
- (3) 滑川蒲鉾の既存の土地と建物施設の取り扱いについての見解を問うとともに、既存建物施設を解体撤去し、一旦土地を更地にしてのゼロベースからの施設整備への構想・計画検討について、見解を問う。

### 3 人・農地プランについて

- (1) 今春の耕作農地の総面積、並びに水稲作付面積、遊休農地面積について問うとともに、その現状について、見解を問う。
- (2) 実質化された人・農地プランにおいて、70歳以上の農業者、並びにそのうちの後継者未定の農業者の耕作面積の推移、並びに農地面積集積率の推移について、見解を問う。
- (3) 農業従事者の高齢化、農業の担い手不足、並びに遊休農地の増加、耕作放棄田の増加、用排水路の維持困難等の現状課題の認識について、見解を問う。
- (4) 対策の例として、認定農業者の育成、経営体の育成、農地面積集積の向上、そして担い手育成、新規就農者受け入れ促進等の対応はもちろんのこと、農業用機械・施設整備への支援のさらなる拡充、国・県・市の支援事業活用についての説明、PR・周知、中間管理機構の遊休農地バンク化、さらには外部からの新規就農者受け入れ対応として、農地並びに住居等の提供支援等々の取り組みについて、見解を問うとともに、そして何よりもこれら対策・施策について、内外への情報発信、PR・周知が必要と考えるが、見解を問う。

## 竹原 正人 議員（一般質問）

### 1 新型コロナウイルス感染症の収束に向けたワクチン接種について

- (1) 現在、高齢者へのワクチン接種については、順調に予約接種が行われているが、若年層、64歳以下へのワクチン接種について先行きはどうか。
- (2) 働き盛りの年代となると、仕事を休むなどをしてワクチン接種に臨まなければならないと考える。速やかな接種ができる環境を整えるため、市としてどう考えているのか。
- (3) ワクチン接種後の倦怠感、痛みなどが、高い確率で発生していると発表されている。大企業や理解のある中小企業はワクチン接種休暇を創設するなどを取り組んでいるが、休暇を取ることが難しい企業、職種について、夜間や休日の対応等は考えていないのか。
- (4) ワクチンの種類によっては、中学生もワクチン接種ができると聞いている。本市はワクチン接種をどの年齢までを想定しているのか。

### 2 空き家対策について

- ・ 今年度建設部に空家等居住対策課を新設した。市長提案理由説明の中では、市内全域の空き家調査を実施し、実態を把握するとともに、市民等に空き家の適正管理の重要性を認識していただく啓発を積極的に行うなど空き家対策を一層強化するとあるが、去年までと何が違うのか。

### 3 コミュニティバス事業について

- (1) 本年度、コミュニティバス運行业務委託の入札が中止となった。どういうことなのか。
- (2) 今定例会で、バスの更新予算が計上されている。導入から10年が経過し老朽化したコミュニティバスを更新するとあるが、以前、策定された地域公共交通網形成計画では本年度更新する予定ではない。どういうことなのか。

- (3) 予算では、バス購入費のほかに代替バスのレンタル料240万円を計上している。現在の予備車は車検が通らないほど、高額な修理代がかかるのか。
- (4) 地域公共交通網形成計画では、バスの小型化やデマンド交通等への調査研究を年度年度で行っているが、何を調査して研究しているのか。

#### 4 キャッシュレス決済促進事業について

- (1) 利用する決済サービスがP a y P a yになった。市内の事業者への利用促進について、もうすでに導入している場合は手続きに時間はかからないと考えるが、今までキャッシュレス決済を導入していない事業者、利用者は説明・周知を考えると7月1日からの事業開始について妥当と考えているのか。
- (2) 事業対象となる店舗についての周知方法はどのようなのか。
- (3) 対象外店舗の中に、委員会に提出された資料では、その他事業の目的にそぐわない店舗等と記載されている。どのような店舗を指すのか。

#### 5 観光振興について

- (1) 今年度のほたるいか海上観光について、1隻体制での実績と課題について、どう検証しているのか。
- (2) 今年度は、新型コロナウイルス感染症対策で乗船人数を減らしての運航であったが、来年度も現在のような対策を講じての運航体制であれば、市内旅館組合だけの宿泊とのセットで十分受け入れが可能と考えるが、見解は。

#### 6 G I G Aスクール構想について

- (1) G I G Aスクール構想による1人1台端末の整備は、全児童生徒への配布を完了したと伺った。実際に使っているのか。
- (2) オンライン学習まで使いこなすのは程遠いとする。今後の使い方を

どう考えているのか。

- (3) 授業に限らず、休憩時間などを使って、端末に触れる時間も必要ではないか。決まった授業だけに使うのはもったいないと考えるが、見解は。

## 7 滑川市総合体育センターの修繕について

- ・ アリーナの床のウレタンの剥がれがひどく、もう修繕しなければならない時期がきている。天井照明のLED化を含めて、同時に修繕すべきと考えるが、見解は。



## 青山 幸生 議員（一般質問）

### 1 地域コミュニティを維持することについて

- (1) 東加積小学校の小規模特認校制度の導入により、転入、入学児童数の変化はどうか。
- (2) 本市の重点事業要望事項である「農業用排水施設の変更であって、施設の従前の機能維持を目的とする更新事業に係る農振除外の要件緩和について」の県の反応は。
- (3) 各小学校の半径1 km以内で市道認定されていない道路を4 m拡幅し、市道に格上げするのはどうか。
- (4) 上記質問を含めて、改めて地域コミュニティを守ることにについて市の見解を伺う。

### 2 自動車免許返納の促進について

- (1) 令和2年度のる my carの年間売上、経費、赤字額はいくらか。
- (2) 高齢者運転免許自主返納支援事業の70歳以上の無料期間を無制限にできないか。
- (3) 民間の移動スーパーが営業してきている。買い物難民に対して取り組めることはないか。

### 3 来年を見据えた観光について

- (1) ほたるいかミュージアムの入館者数は前年比71%減となった。コロナ禍でのお客様の声や反応はどのようなものか。
- (2) 観光の抜本的赤字体質からの脱却に向けて、コンセプトからお客様へのアプローチまでを伺い、SNS映えをコンセプトに進めるとの答弁であった。進捗はどうか。

(3) 滑川蒲鉾跡地の活用は観光に使わないのか。PFIを活用してはどうか。

## 尾崎 照雄 議員（一般質問）

### 1 福祉について

- ・ ヤングケアラーについて
  - ア 本市の実態を把握しているか。
  - イ 課題と求められる支援などの対策について

### 2 教育について

- ・ 不登校傾向児について
  - ア 本市の実態を把握しているか。
  - イ 課題と求められる支援などの対策について

### 3 空き家対策について

- ・ 空家等居住対策課が新設され、県から新任課長が派遣された。
  - ア どのように取組むのか、抱負と併せて伺う。
  - イ 永代地上権に対する取り組みについて

### 4 防災について

- ・ 本年度に行われた防災パトロールの対象箇所の住民に対して避難訓練を行ってはどうか。

### 5 新型コロナウイルスワクチン接種について

- ・ 本市では、集団接種が、7月10日と7月31日に行われることとなった。
  - ア スタッフは大丈夫か。
  - イ 事前に予診票を記入していないことも想定される。会場でアドバイスを受けながら記入できるよう、アドバイザースタッフと記入用座席の確保について
  - ウ 障がいのある接種希望者に対する、手話通訳や筆談ボードなど配慮は十分か。

エ 車いす利用の接種希望者が会場で移動の不自由が生じないよう配慮は十分か。

## 開田 晃江 議員（一般質問）

### 1 コロナ禍の中で

- (1) ひとり親家庭の親や小さな子どもを持つ両親がコロナに罹患した場合、子どもはどのような状況に置かれるのか。県外からの居住者の場合、地元で親戚がないなど想定して準備はしてあるか。
- (2) 無症状の場合は自宅療養か。その場合の配食サービスなどの支援は考えているか。心配しなくてもいい状態になっているか。
- (3) 5月31日の新聞報道は田村厚生労働大臣が疾患のある人の数が不明のため、全員が打ち終わるまで待つと、いつ終わるかわからない。自治体に体制づくりを求めたとあり、また、河野大臣が自治体独自の優先枠導入を容認したとある。滑川市はひとり親家庭の親や小さい子どもを持つ両親の優先接種は考えられないか。
- (4) 滑川市は64歳以下の接種体制は設定されているのか。基礎疾患とはどんな病気か。
- (5) 保育園、幼稚園、認定こども園の保育教諭等の優先接種、小中学校の教員、職員等の優先接種など考えられないか。
- (6) 接骨院の先生は医療関係従事者と聞いている。優先の枠でないのか。

### 2 学校図書館について

- (1) 小学校学校図書館に蔵書検索ソフトの導入について
  - ア 各学校の蔵書数は標準冊数をクリアしていると考えますが、大丈夫か。ただ、眠っていないか。管理されているか。
  - イ 学校図書館はどのように貸し出ししているのか。
  - ウ 検索機能が不十分だと活用の技がないのではないか。
  - エ エクセル等でデータ化はされているか。
- (2) 学校図書館問題研究会第36回全国大会はオンライン開催と聞いているが、滑川市は参加するのか。

### 3 学校給食の食材について

- (1) 有機農産物を利用した学校給食への試みは予定していないか。
- (2) 1食だけでも有機米や有機野菜の食材で献立を提供できないか。

### 4 児童虐待防止について

- ・ 教育職員等による児童生徒性暴力等の防止等に関する法律が可決、成立したことに伴い、現状を伺う。
  - ア 教員によるわいせつ行為が疑われる情報があった場合、教育委員会は各学校に対してどのように指導していくか。
  - イ 今まで滑川市では類似的行為はあったか。
  - ウ 教員によるわいせつ行為が発生しないために予防的な取り組みを進めることが重要と思うが、どのようなことを考えて取り組んでいくか。

## 原 明 議員（一般質問）

### 1 農業の振興について

- (1) スマート農業の推進が図られているが、滑川市の状況について
- (2) 担い手の農地集積が進んでいるが集積の推移と認定法人などの経営体の現状について
- (3) 令和2年4月から法改正により、滑川農業公社を通じたの利用権設定の更新などの契約ができなくなった。今後は所有者と耕作者との相対契約とするか、県農地中間管理機構を通しての契約となっている。更新手続き時の相談や指導体制は十分か。
- (4) 将来の経営体のあり方や、農地の持続的な活用を進めるため、滑川市の農業を考えていく組織を作るべきと思うが見解は。

### 2 農業用水路での転落事故防止対策について

- (1) 農業用水路の転落防止対策が大きな課題となっている。用水路の危険箇所での点検や危険性の確認はされているか。また、これまでの取り組みはどうか。
- (2) 事故のリスクが高い箇所からフェンス等の設置を優先すべきと考えるが優先度はどのように決定しているか。
- (3) 事故防止対策には行政や土地改良区をはじめとする関係団体や地域の組織との連携が必要であると思うが。
- (4) 地域での事故防止対策を話し合うワークショップを開催し危険箇所マップを作成してはどうか。
- (5) 児童や高齢者を対象とした広報、啓発活動推進をすべきと思うが。

### 3 市民による模擬議会の開催について

- ・ 様々な視点からとらえた意見や提案等を市政に反映させることを目的に青年議会、女性議会の開催について

## 角川 真人 議員（一般質問）

### 1 新型コロナウイルス感染症対策について

- (1) 高齢者施設等で従事している職員、通所施設や在宅介護職員への新型コロナウイルスワクチン接種の状況は、どのようになっているか。
- (2) 施設などでのクラスター発生を防止するには、定期的なPCR検査が必要と思われる。実施を検討できないか。

### 2 コミュニティバスについて

- (1) 今回の補正予算で老朽化したバスの更新があげられているが、これまでと同様の仕様のバスを検討しているのか。
- (2) 地域公共交通網形成計画では、車両更新の計画に小型バスの導入検討も含まれている。どのような検討がされたのか。
- (3) 地域公共交通網形成計画では、デマンド交通やハブバス停の検討を2020年度で行い、21年度では検討結果の実施とあった。検討の結果はどうなったのか。

### 3 行田公園について

- ・ 公園案内図では「すいれん池」となっているスペースがあるが、手入れされている様子もなく荒れている。ここを今後活用する予定はあるのか。

### 4 通学路について

- ・ 市内の各地で歩道改良の計画が進められているが、除雪作業による破損や老朽化により、傷んでいるガードレールや転落防止柵があちこちで見られる。一度しっかりと点検し、補修を行うべきではないか。